



（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2024 年 11 月 29 日

静岡県知事 殿

提出者 いなば食品株式会社
住 所 静岡市清水区由比北田114-1
氏 名 代表取締役 稲葉敦央
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 054-375-3299

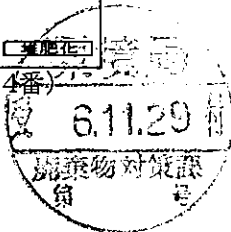
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	いなば食品株式会社
事業場の所在地	静岡市清水区由比北田114-1
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

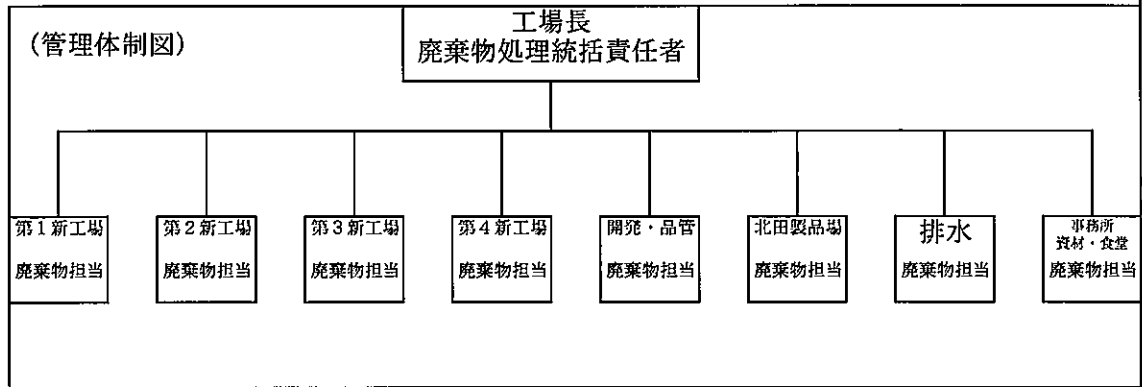
① 事業の種類	缶詰製造業																																																		
② 事業の規模	34,227百万円																																																		
③ 従業員数	448人																																																		
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<table><tr><td rowspan="7">製造工程</td><td>→</td><td>缶ブラスチック</td><td>→</td><td>中間処理</td><td>→</td><td>発電</td></tr><tr><td>→</td><td>動植物性残渣</td><td>→</td><td>中間処理</td><td>→</td><td>堆肥化</td></tr><tr><td>→</td><td>動植物性残渣</td><td>→</td><td>中間処理</td><td>→</td><td>バイオマス燃料</td></tr><tr><td>→</td><td>廃油</td><td>→</td><td>中間処理</td><td>→</td><td>燃料</td></tr><tr><td>→</td><td>木くず</td><td>→</td><td>中間処理</td><td>→</td><td>燃料</td></tr><tr><td>→</td><td>廃電池</td><td>→</td><td>中間処理</td><td>→</td><td>再生利用</td></tr><tr><td>→</td><td>蛍光灯</td><td>→</td><td>中間処理</td><td>→</td><td>再生利用</td></tr><tr><td colspan="7">排水処理 → 汚泥 → 脱水汚泥 → 中間処理 → 堆肥化</td></tr></table>	製造工程	→	缶ブラスチック	→	中間処理	→	発電	→	動植物性残渣	→	中間処理	→	堆肥化	→	動植物性残渣	→	中間処理	→	バイオマス燃料	→	廃油	→	中間処理	→	燃料	→	木くず	→	中間処理	→	燃料	→	廃電池	→	中間処理	→	再生利用	→	蛍光灯	→	中間処理	→	再生利用	排水処理 → 汚泥 → 脱水汚泥 → 中間処理 → 堆肥化						
製造工程	→		缶ブラスチック	→	中間処理	→	発電																																												
	→		動植物性残渣	→	中間処理	→	堆肥化																																												
	→		動植物性残渣	→	中間処理	→	バイオマス燃料																																												
	→		廃油	→	中間処理	→	燃料																																												
	→		木くず	→	中間処理	→	燃料																																												
	→		廃電池	→	中間処理	→	再生利用																																												
	→	蛍光灯	→	中間処理	→	再生利用																																													
排水処理 → 汚泥 → 脱水汚泥 → 中間処理 → 堆肥化																																																			

(日本産業規格 A列4番)



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	排 出 量
	動・植物性残渣	1360.089 t
	汚泥	915.33 t
	廃プラスチック	1483.98 t
	木くず	100.089 t
	引火性廃油	0.04 t
	蛍光灯	0.065 t
	廃電池類	0.266 t
	（これまでに実施した取組） 1. 生産設備、ユーティリティ設備の保守点検を計画的に行い、トラブルを減少させ廃棄物の削減に努めました。 2. 廃棄物の分別教育を行い、従業員の意識を向上させた。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	排 出 量
	動・植物性残渣	1360.089 t
	汚泥	915.33 t
	廃プラスチック	1483.98 t
	木くず	100.089 t
	引火性廃油	0.04 t
	蛍光灯	0.065 t
	廃電池類	0.266 t

		(今後実施する予定の取組) 現状と同じ
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状		(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 動植物性残渣、汚泥、廃油、廃プラスチック、木くず、蛍光灯、電池を 保管場所を分けて分別している
②計画		(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状と同じ。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	①優良認定処理業者への処理委託量 ②再生利用業者への処理委託量 ③認定熱回収業者への処理委託量 ④認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				
		① (t)	② (t)	③ (t)	④ (t)	全処理委託量 (t)
	動・植物性残渣	0	1360.89	0	0	1360.089
	汚泥	45.7	869.63	0	0	915.33
	廃プラスチック	1179.6	304.41	0	0	1483.98
	木くず	100.09	0	0	0	100.089
	引火性廃油	0.04	0	0	0	0.04
	蛍光灯	0	0.065	0	0	0.065
	廃電池類	0	0.266	0	0	0.266

		(これまでに実施した取組) 再利用化
--	--	-----------------------

(第5面)

②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	①優良認定処理業者への処理委託量 ②再生利用業者への処理委託量 ③認定熱回収業者への処理委託量 ④認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				
		① (t)	② (t)	③ (t)	④ (t)	全処理委託量 (t)
	動・植物性残渣	0	1360.89	0	0	1360.89
	汚泥	45.7	869.63	0	0	915.33
	廃プラスチック	1179.6	304.41	0	0	1483.98
	木くず	100.09	0	0	0	100.089
	引火性廃油	0.04	0	0	0	0.04
	蛍光灯	0	0.065	0	0	0.065
	廃電池類	0	0.266	0	0	0.266
		(今後実施する予定の取組) 現状と同じ				
※事務処理欄						